

SDGs フェス開く

オオスミ

オオスミ（大角武志社長）は8日に横浜市役所でSDGsフェス「ラウド&ピース」を開いた。2回目の開催となる今回は「ごみ問題」のテーマに沿って、かながわ海岸美化財団や横浜市資源循環局の担当者らが講演した。

大角社長は「地球温暖化などの異常気象が続く

なかで、われわれもSDGsを題材に何かやりたいという思いからこのイベントを始めた。堅苦しくなく、ロックフェスのように自由な雰囲気環境問題を叫ぶ、双方向型のセミナーにしたい。ま

た、さまざまな場で活動する講演者らが横につながるきっかけにしたい」と活動の狙いを説明した。

あいさつする大角社長



当日は環境活動に携わる7人の担当者が「川ごみを拾う理由と川の未来」や「2050年は本当に迎えられるのか」などと題してプレゼンテーションを行った。講演後には質問コーナーやパネルディスカッションを実施し、参加者全員で環境問題について語り合った。

建通新聞 神奈川（2023年9月15日発刊）に掲載されました！